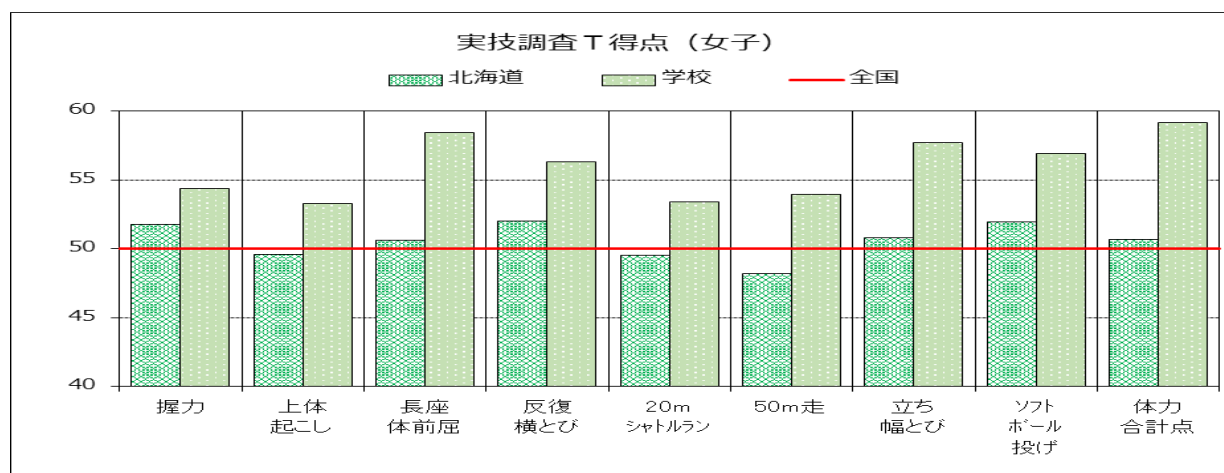
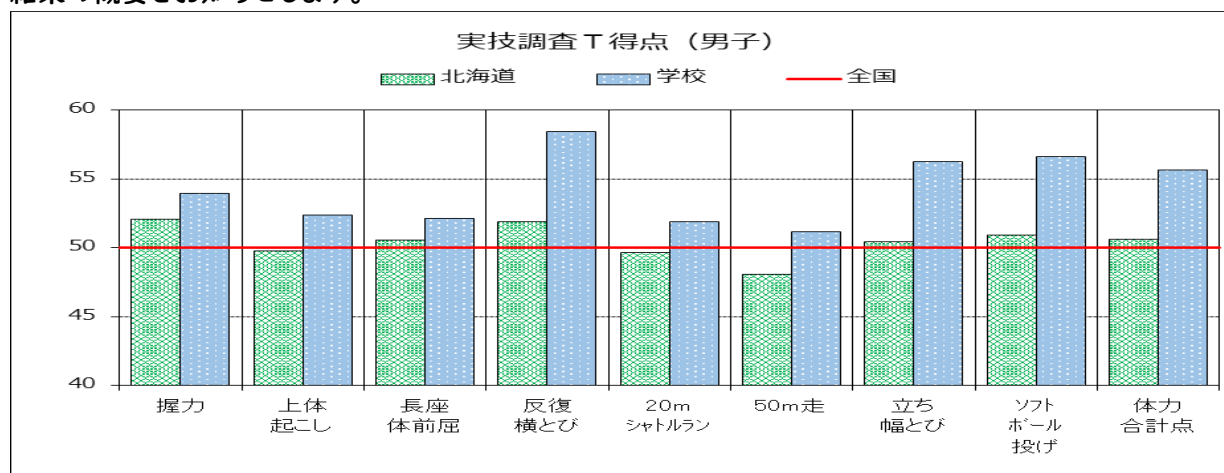


## 令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要

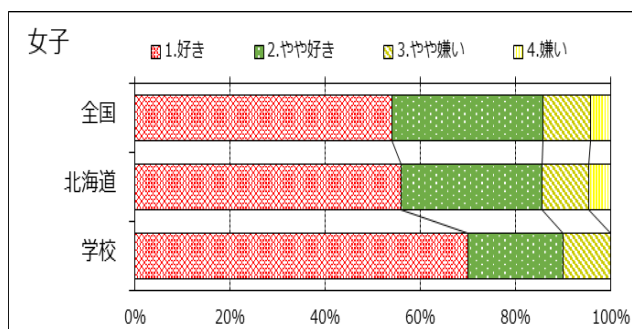
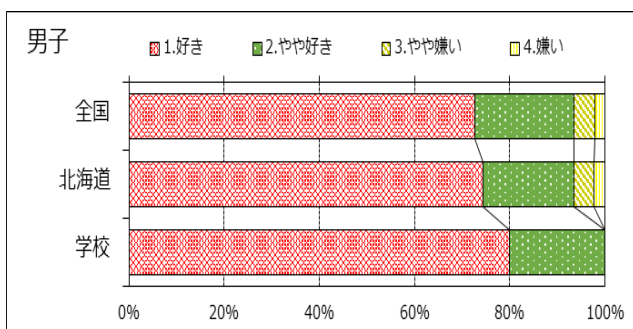
本調査は、児童の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、実施されています。

調査対象者は5年生で、調査内容は、実技に関する調査（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ）と質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）です。

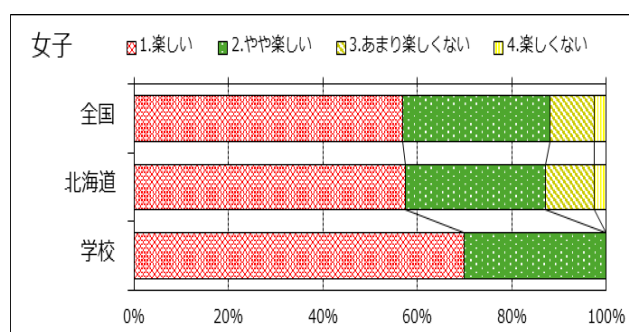
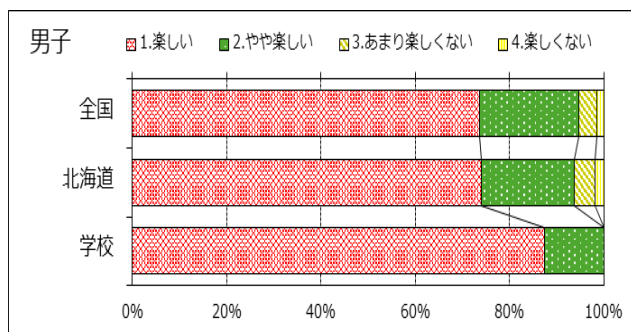
結果の概要をお知らせします。



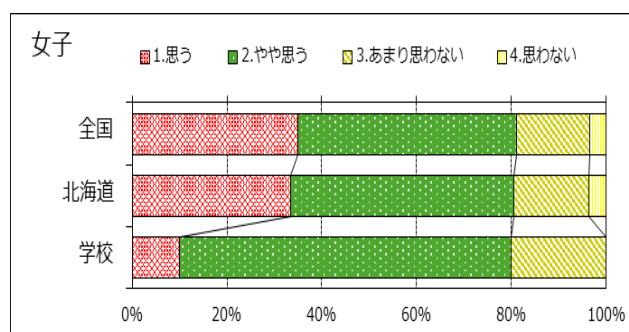
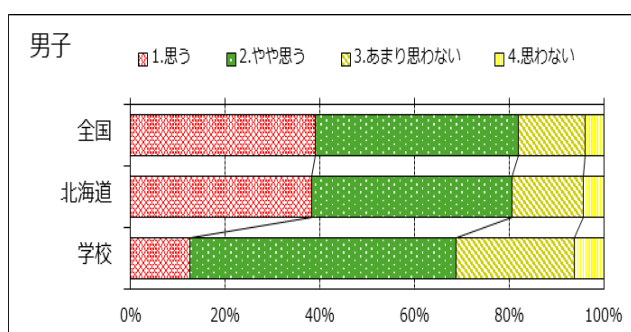
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



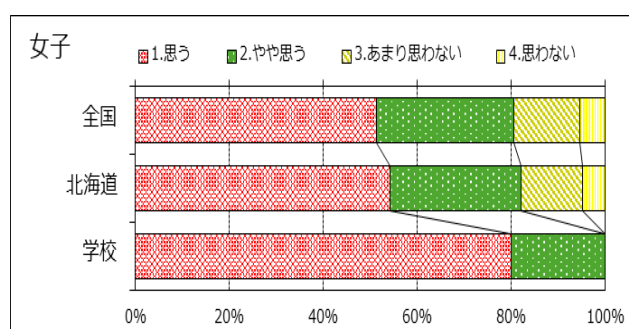
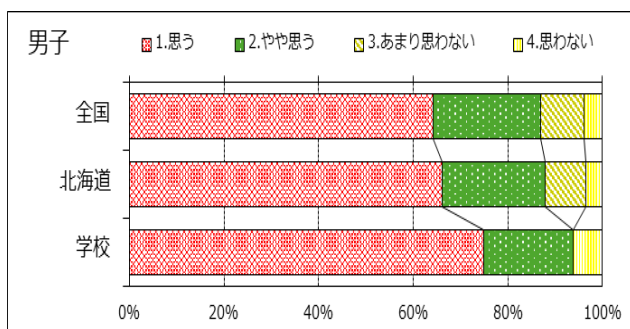
## 体育の授業は楽しいですか。



## 保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみに気をつけた生活を送れていると思いますか。



## 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



実技に関する調査では、男子は全ての種目で全国平均を上回りました。女子も全ての種目で全国平均を上回りました。

質問紙調査では、男女ともに「保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみに気をつけた生活を送れていると思いますか。」という設問に対し、「思う」と回答した児童の割合が全国平均を下回りました。また、「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたい。」という設問に対し、「思う」と回答した児童の割合が全国平均を上回りました。

学校では、二中エリアの取組の一環として、新体力テスト時に帯広第二中学校の生徒が本校児童に実技指導を行っています。こうした取組も含め、児童の中学校進学以降を見据えた運動意欲の向上に成果が見られました。しかし、保健の学習内容を日常生活に生かしきれていない傾向が伺えました。

そこで、本校では、①保健の授業も含め、「1日の過ごし方」などについて考える授業づくり、②運動する楽しさや必要性を高める授業づくり、③体力づくりの全校的な取組を通して、引き続き児童の体力・運動能力、運動習慣等の向上を目指していきます。